

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：女性保護費 目：女性保護費

事業名 **新** 性暴力被害者医療支援マニュアル動画制作事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部子ども・女性局子ども家庭課家庭支援係

電話番号：058-272-1111 (内 2678)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,029 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,029	514	0	0	0	0	0	0	515
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

「ぎふ性暴力被害者支援センター」においては、性暴力被害者がいつでも相談しやすい体制を整備するため、被害者支援の訓練を受けた相談員を配置した24時間・365日体制の専門相談窓口を設置し、できる限りワンストップで総合的な支援につなぐことにより、被害の潜在化を防止し、被害者の早期回復を図っている。

同支援センターでは、強制性交等・強制わいせつの性犯罪の被害者に対し、必要に応じて支援員同行のもと受診時の被害状況説明をはじめとする、産婦人科診療の受診に対する医療支援を行っている。

(2) 事業内容

性暴力被害者が受診しやすいよう、産婦人科診療において支援センターの支援員による被害状況の説明を行うなど、被害直後の心身ともに傷ついた被害者への精神的なケアと早期の処置のうえ、その後の支援につなげる。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2、県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	117	出演者謝礼
消耗品費	10	
委託料	902	動画制作、編集
合計	1,029	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第2次犯罪被害者等基本計画（内閣府）閣議決定（平成23年3月）
- ・ 犯罪被害者支援推進要綱の制定（平成23年7月）
- ・ 性犯罪・性暴力対策の強化の方針（性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議）決定（令和2年6月11日）

(2) 国・他県の状況

- ・ 47都道府県54か所で設置済み（令和3年4月現在）

(3) 後年度の財政負担

性暴力被害者は、精神的なダメージが大きく、中長期的な支援が必要であることから、事業を継続する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

第2次犯罪被害者等基本計画において、「各都道府県に少なくとも1か所設置されることが望ましい」と記載があることから、県が一義的に設置する義務があると考えられる。また、社会復帰に向けた中長期的な支援を行うため、女性相談や就業支援などを行う関係機関と緊密に連携できるよう、知事部局において設置・運営することとする。

事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

性犯罪・性暴力被害者に、被害直後からの支援をできる限りワンストップで行い、医療支援が必要な場合には協力病院での診察への同行、経緯剂的支援を通じて被害者の心身の負担を軽減と健康回復、被害の潜在化を防止する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						達成率
協力医数	26	26	27	28	30	86%

○指標を設定することができない場合の理由

--

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
---------------	--

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>ぎふ性暴力被害者支援センターは24時間365日相談を受け付けており、被害者への医療措置を緊急に要する場合に常に対応できるよう協力医の拡充は重要である。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>対応方法を動画により協力医に配布することで、各医師の都合に応じて具体的な手順を各自で随時確認することができる。</p>

(今後の課題)

<p>緊急医療が必要な際により迅速に医療支援が受けられるよう協力医の増加と県内各圏域での充実を図ること。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>支援マニュアル制作のうえ、協力医の確認用や新規協力医への依頼時に医療支援の具体的手順の習得に用いる。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	